

天野さんミーティング 20221214

- 私の研究の位置づけ
 - なにかしらを作って，世の中にそれを発信して，その使い方を社会に見つけてもらう．
 - その使い方を見守る，そこからまた新しい展開が生まれるのを見るのが好き．それが楽しいと思っている．
 - このサイクルを回せるなら研究でも開発でもいいと思っている．
 - 研究の内発的モチベーション
 - 研究をすること
 - 何かを作って，誰かに試して論文というフォーマットで発表するのはモチベーションになる
 - なのでどちらかというと基礎研究を組み合わせで新たな何かを作って試すというような研究が好ましい
 - 論文を書くこと
 - 陸上におけるタイムみたいなものだと思っている．
 - 数値にして評価されるのは割と好き
 - 博士課程に行くこと
 - 私の現在興味を持っていること（身体拡張）的に一度学問として，ものを作ること，有用性を測ること，それを論文として社会に出すことの勉強をしたほうがいいと思っている
 - 社会実装のための起業を見据えたうえで社会的な信用を得るという意味で博士号は必要だと思っている
 - 身体拡張のベンチャー等を見てもどちらかというと大学からのスピンアウトが多い
 - これは人間を扱う新技術であるゆえに，医学とのコネクションが必要なこと，また，信用が大事であるからな気がする
 - 祖父が「海外で博士を取るといいよ～」と言っていたので
- 天野さんとの研究の方向性
 - 今回得られた知見をもとに装置的なアップデートを中心に趣味的に行う．
 - 定期的に天野さんとの研究ミーティングは続けていく
 - できれば学会で得られた有用な意見を元に装置をアップデートしてもう一度国内学会に出す
 - 実験としては装置がちゃんと動いていることを示すような実験を人を対象とせず行う
 - お互いのメリット
 - 佐々部：研究としてまとめるうえでの助言をもらえる．強制的に研究が進む
 - 天野さん：技術的な相談ができる．実験条件などの意見がもらえる．強制的に研究が進む

- 今後の進め方
- 佐々部の優先事項
 - まずは良い研究室を探す
 - IELTSで良い点を取る
 - 海外に行く準備を行う
 - 趣味として今回の意見も踏まえて装置のアップデートを行う

SI2022での助言

- 有効性を見るのは難しそう
 - まずは、作ったシステムに対して、「今は聞こえる」「今は聞こえない」等の素朴な実験を行ったほうがよいのではないかな？
 - その上で創造性につなげていけばいいのでは？
- 機械学習等を使って、個々人の指向にあわせていけたらいいよね
- 作ったシステムと、検証実験が違和感なくつながるといい（あえて創造性とかやる必要あった？）
- 非常に興味深い（声多数）
 - 自分は面白いことをやっているという確信は得られた
- 全方向の音からある方向を減衰したりしたらよさそう
 - これはやってみたい
- 日常生活を考えると、例えばサングラスをかけっぱなしにしているのを忘れている。みたいなことがある
 - この装置もおなじように、取り忘れてたら車の音がカットされて交通事故にあうみたいなことがありえる。こんな状況にいるからこういう音をカットしようみたいなことを最適化できるといい。
- ホワイトノイズを乗せるということだが、ちゃんと集中できるような音にしたほうがいいのか？

SI2022他展示感想

- デモがあったほうが見る気になる
 - 次出すときは、ヘッドフォン型のプロトタイプくらいあるとよさそう
- 検証実験が素朴なのは大事だと思った
 - もっと装置自体にできることをちゃんと実験にするのがまず第一歩になりそう
- 動画があるとわかりやすい
- 蛇ロボットの強化学習して環境に適合させる奴が面白かった

- SoAの定量化みたいな定量化研究が多い
- 株式会社アールティ面白そう